

COOP-JOSO News Letter

2020年8月2回号 発行/常総生協広報G

2020年度活動テーマ案「JOSO食材でかんたん・うちごはん ～食卓から笑顔あふれる未来へ～」

夏休み応援！ かんたん・うちごはん♪



○対象期間	○対象商品 ※8月2回は商品カタログ表紙(1P)に掲載しています。
2020年8月1回～8月4回	ミールキット全般 (毎回異なるミールキット商品が掲載されます)

＼続々と、「美味しい」「嬉しい」の声が届いています／ 利用した組合員の声



手早く調理ができて、味付けも本格的な黒酢豚を作る事ができました。タレと具の割合も丁度良い印象です。美味しく頂きました！

(龍ヶ崎市：Oさん)

供給担当の方が「とにかく野菜が美味しい！新鮮！」とおすすめてくれたので、試しに「チンゲン菜のスタミナ炒め」を注文しました。

確かにチンゲン菜はシャキシャキ、赤パプリカはツヤツヤで味良し♪ 自宅に残っている野菜をちょっと足して作りましたが、満足です。来週も楽しみです！

(取手市：Iさん)

「彩り野菜と国産豚の黒酢豚」を購入し、晩御飯のおかずとして食べました。今、5か月になる娘がいるので、なるべく家事の時間短くして(特に調理する時間！)、娘と過ごす時間や、主人との食事の時間、自分のリフレッシュ時間にあてたいと思っていたので、常総生協の「ミールキット」をまわっていました！！という気持ちでとても嬉しいです。ありがたいと思っています。

(取手市：Iさん)

役員挨拶(4) 木内 和彦 常務理事



今期も常務理事を務めさせていただきます木内です。理事は、今期で4期、8年になります、引き続き宜しくお願いします。

2019年度、秋に消費税の増税があり、利用の落ち込みが懸念されましたが、みなさんの利用結集により、昨年を上回る実績を残すことが出来ました。2月からは新型コロナウイルスの影響で、宅配事業が見直され、生協に利用が結集しました。また、緊急事態宣言、外出自粛の際に多くの組合員からお友達の紹介もあり、新しい仲間も増えています。現在も素敵なプレゼントがある紹介キャンペーンも継続しておりますので、引き続き仲間づくりにご協力お願いします。

働き方改革の取り組みとして、供給担当が行っている朝のトラックへの荷物の積込作業を外部委託を進めています。ワーカーズコープ(日本労働者協同組合)さんの力をお借りして7名の新しい仲間と朝5:00よりトラックへの積込作業を行っています。地元の大学生、シニアの方や障害を持った方などに生協事業を通して新しい働く場を提供出来ました。今後も多様な働き方のできる組織づくりを進めていきます。

昨年、外部のマイクロプラスチック問題学習会に参加してきました。講習会の最後には使わないことが一番の解決策と言われています。生協事業の中で組合員へ商品をお届けするのにシッパー(発砲スチロールの箱)、商品を仕分けするのに使うビニール袋など多くのプラスチック製品を使用しています。ピッキング(商品仕分けセット)業務の効率化、ビニール使用の削減を図るためにシッパーを全体をくるめるようなガセット(マチのついた大きなビニール袋)に変更を検討しています。しかし、プラスチックゴミ削減は事業課題と取り組んでいかなければなりません。今後、使用済みのビニール袋の回収などリサイクルは難しいにしても再資源としての活用など検討しています。

生協に商品を納めてくれている生産者ともに商品の過剰包装、包装資材の変更などプラスチック製品の削減の声もあがっています。生活の一部からでもプラスチックをなくそうと、生協本部わきの小さな畑でへちまを育て、「へちまたわし」を生産者の会と連帯して商品化していく事を予定しています

今起きている令和2年7月豪雨は各地に被害を広めています。毎年起こる自然災害、今回の新型コロナウイルスの感染症も、今まで私たちは環境に負荷を掛けすぎた生活を送ってきた代償ではないかと思っています。未来の暮らしに、よりよい環境を残すための活動・事業を今後も展開していく必要があることを強く感じています。

役員挨拶(5) 小宮山 遼 常勤理事(商品統括)



第24期常勤理事に就任致しました、小宮山と申します。私は商品部に所属しており、農産物、米、卵、牛乳、ミールキットの部門担当をしております。

今年も例年に増して天候が荒れ、直近では「令和2年7月豪雨」が発生し、第一次産業・製造業等に大きな影響をもたらしています。農産物の生産者からは「大雨、風が強く畑に入る事すら困難だ」「本来であればこの時季果菜類(トマト、きゅうり、オクラ、ナス等の夏野菜)が最盛期のはずが、雨量が多すぎて育ちが悪い」と話が出るほど過酷な現場の中、決して下を向くことなく最善を尽くす姿勢は本当に頭が下がる思います。

2020年度の常総生協の活動テーマは「JOSO食材で簡単おうちごはん〜食卓に笑顔あふれる未来へ〜」です。その中の一つに「有機農業を広めよう」があります。EU諸国を始めとする先進国においては有機農業食品がめざましい広がりをみせておりますが、日本においては未だ1%程度とまだまだ普及に至っておりません。

常総生協がかかげる有機農業は、単に農薬を使わない(●回削減した)、JAS認証を取っているという事ではありません。農産物＝「いのちのもとだね」として考え、①自然の循環を大切にし、土に微生物が棲み有機物をきちんと分解できていること。②土にミネラルがあり、植物の代謝ができていること。③仮にそれらがまだ実践に至らなくともその意思を持って取り組んで(目指している)事などが重要と考えます。

「地場の有機野菜セット」(清水さん、天池さん、長島さん、宇治田さん)の生産者は、こうした常総生協が掲げる有機農業を実践している生産者であり、相互扶助という協同組合の精神で「契約出荷(＝お互いで支えあう)」という形を取っている理由もここににあります。もちろん、野菜セット以外の生産者も有機農業の意思と目標を持って日々取り組んでおります。

農薬、遺伝子組み換え、タネなど、農産物には様々な問題が関わっています。食は「いのちのもとだね」であり、これらの問題を正しく理解し、生産者・組合員の皆様と共に一つ一つ解決していく必要があります。この「一緒に学び、解決していく」事こそ、ひいては有機農産物の利用のきっかけとなり、広がりをみせていく取り組みになると考えています。

現在、新型コロナウイルスの発生により生産者交流会や組合員活動ができていない状況です。生産者・生協・組合員のつながりを再度構築できるよう、カタログ紙面や機関紙、SNSなどを使って発信していきますので、興味のある事・出来る事から参加していただければと思います。この2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

生産者・組合員・職員の広場

〇あじ南蛮づけ、美味しかったです！

「フライパンで作るあじの南蛮づけ」¹のあじが油で焼いただけでカリカリで、薄味でおいしかったです。タレなしでそのまま子供たちがパクパク食べたので、タレは別途玉ねぎサラダにしました。いわしの部分だけ買いたいくらい子供たちが気に入っていました。

(つくば市 Kさん)

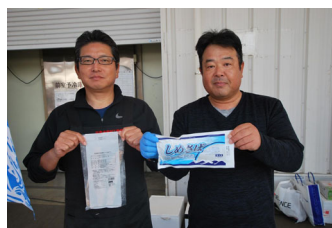
千倉水産加工販売の常総担当師資田(ししだ)さんから、組合員さんへのお返事いただきました↓

いつもご愛顧いただき有難うございます。お子様が喜ばれたとのこと、生産者冥利に尽きる言葉です。有難うございます。

この商品は、主に千葉県で水揚げされた小さめの真あじを使用し、調理しやすいよう、三枚におろし、腹骨・ゼイゴ(皮目についているギザギザの

物)まで除去しました。三枚におろすことにより身が薄くなり、手間のかかる南蛮漬けを油を引いたフライパンで調理できる時短品に仕上げました。衣も国産小麦粉を使用しています。

また、タレは玉ねぎサラダにされたとのこと。そんな使い方もあるんですね～。是非、商品作りの参考にしたいのですが宜しいでしょうか。また、今後共、引き続きニーズに合う商品をご案内していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



追伸：先日御社の※FB(常総生協が好きだー！)上にて弊社の「しめさば」が特集されておりましたね。有難うございます。もちろん、いいね！させていただきました。

※2019年11月 生協まつりにて 写真左が師資

¹ 8月5回商品カタログ132で掲載しています。

田さんです。
(千倉水産加工販売(株) 師資田)

※生協より
常総生協のFacebookファンページ「常総生協が好きだー！」は、こちらのQRコードよりご覧いただけます。尚、常総生協の公式Facebookでもシェアしておりますので、併せてご覧ください！

常総生協が好きだー！



○鈴木牧場牛乳2周年を迎えて(2020年7月3回newsletterに掲載)

鈴木牧場の牛乳、2周年おめでとうございます。
6歳の娘が「牛乳も土からできているんだよ！」と親に説明してくれるようになりました。うれしいですね。

(つくば市 Iさん)

鈴木牧場さんからのメッセージを読みました。昨年の交流会に参加してから、ますますファンになり、鈴木さんの酪農に対する考え方、取り組み方に心から共感しました。牛の健康を第一に考え、良質な牧草を食べさせるための労力を惜しまない。そして、搾乳量を増やすことより、牛一頭一頭に気を配り育てていくには、30頭が限度。これ以上増やしたら目が届かなくなる。とおっしゃっていたことを改めて思い出しました。お孫さんも生まれて、ますますにぎやかに楽しい牧場になっていくのでしょうか。すっかり親戚の気分になっていますが、これからも鈴木牧場の乳製品を応援していきたいと思います。

(牛久市 Hさん)

▽石岡鈴木牧場・鈴木昇さんから、組合員さんへのお返事いただきました↓

ご意見ありがとうございます。こうやって会話のキャッチボールができるのも生協も魅力のひとつだと思います。

家族も増えたので、これからも期待に応えるように頑張っています。

(石岡鈴木牧場 鈴木昇)



○青木さんのトマト美味しかったです！

青木さんのトマト、とても美味しく感じながら頂いております。大きすぎず、大きさも小家族のわが家にはGOODです。無農薬なのが私にはとてもありがたいです。もうシーズン終わりですか？残念です。今度は長島さんにお世話になります。

青木さんありがとうございました。こうして生産者を探してきてくださりありがとうございます。

この度はご意見ありがとうございました。この週にお届けしたトマトは「りんか408」という品種で、7月上旬でシーズンが終了してしまいました。8月から新しい品種で企画を予定しておりますので、ぜひご利用頂ければと思います。(次回の企画予定：8月1回)

～青木農園さんの紹介～

2020年6月より常総生協の新しい生産者の仲間として加わりました。また、32歳と農業従事者の中では極めて“若手”の部類に入ります。ぜひ常総生協としても応援していきたいと思います。

(商品部：小宮山)

▽青木さんよりコメントが届いています。

この度は、ご意見をいただきましてありがとうございます。代々農家として生まれましたが、農薬のついたものを子供に食べさせる事の後ろめたさや、何より生産者自身の影響が強い事を知っています。農薬散布も“マスク1枚”で行っている農家の現状も知りつつ、自分や妻、子供、その子供の代まで影響が及ぶことに恐怖があります。確かにアブラムシなど害虫が発生した場合は、使いたい気持ちもありますが、農薬を使わないという事を決めた以上使いません。自家製の堆肥とER菌という菌を土に使う事で、健康な土が出来上がります。まだまだ試行錯誤ですが、農薬や化学肥料に

頼らないトマト作りをこれからもおこなっていきます。

←2020年6月青木さんのトマトハウスにて



(青木農園 青木和弘)

○大玉すいか、理想の味です！

木村さんの大玉すいか 甘さ、シャリシャリ感、理想の味です。今年もたくさん注文させて頂きます。他のお野菜もおいしく木村さんのファンです。

(守谷市：Kさん)

▽木村農園、木村さんより組合員さんへのお返事をいただきました。

日頃よりご利用ありがとうございます。

今年は長雨、急な豪雨、日照り不足など悪条件の中、畑は決して良好な状態ではありませんでした。そんな中で、このようなご意見を頂いたことは非常に嬉しく思います。

小玉すいかについては予想以上のご注文を頂き欠品となってしまい申し訳ございません。次年度は組合員の皆様に食べてもらうよう面積を増やして作る予定です。

(木村農園 木村勉)